

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

(別紙のとおり)

② 自己点検・評価報告書

a 公表時期

I. 平成19年7月1日公表 『佛教大学自己点検・評価報告書2006』 大学基準協会相互評価及び認証評価申請用調書
※報告書作成基準日が平成17年度のため、仏教学部・歴史学部・文学部日本文学科の状況は含まれないが、改組前の文学部人文学科の状況が含まれている。

II. 平成22年3月1日公表 『佛教大学教育研究活動年報(2008年度版)』
※毎年度刊行しており、2009年度版から、仏教学部・歴史学部・文学部日本文学科が含まれる。
なお、2009年度版は平成23年3月公表予定。

b 公表方法

I. ホームページ上に公開し、関係機関へ冊子を配布(※大学基準協会からの評価結果を含む)。

II. 大学図書館に配架。

③ 認証評価を受ける計画

・平成18年度に認証評価機関である大学基準協会の相互評価並びに認証評価を受審したが、仏教学部・歴史学部・文学部日本文学科の状況は含まれていない。今後の計画としては、認証評価時の「助言」に対する改善への対応状況を「改善報告書」として、平成22年度7月末までに大学基準協会へ提出する予定である。
また、平成23年度に自己点検・評価結果を取りまとめ、平成24年度に大学基準協会において認証評価を受審する予定である。

(4) 情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ ☒ 無)

b 公表予定時期 (平成 22 年 7 月 1 日)

c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(☒ 承諾する ・ 承諾しない)

d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(未 定)

(別紙)

設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

平成 22 年 4 月に通信教育課程とともに、仏教学部仏教学科(入学定員 60 名)、歴史学部歴史学科(入学定員 110 名)、歴史学部歴史文化学科(入学定員 70 名)および文学部日本文学科(入学定員 120 名)を、既設の文学人文学科からそれぞれ改組開設し、その設置の趣旨・目的を達成すべく学生募集を開始した。

学生確保については、初年度を迎え、下表のとおり 4 学科とも近畿圏を中心(約 80%)として志願者数を確保している。

この 4 学科の改組前である文学部人文学科の昨年度の志願者数が 2,377 名であったことを考えると、近年の 18 歳人口の減少により多くの大学において志願者を減らしている中ではあるが 2 倍弱の志願者数を確保できたことは、今回の学部学科改組をはじめ、全学的な入試制度の見直しおよび大学入試広報の成果であると考えている。

次年度以降についても、学生確保に関する施策を展開し、より積極的・全国的な入試広報を展開する予定である。

	仏教学部 仏教学科	歴史学部 歴史学科	歴史学部 歴史文化学科	文学部 日本文学科	合計
入学定員	60 名	110 名	70 名	120 名	360 名
平成 22 年度 志願者数	348 名 (275 名)	1,997 名 (1,515 名)	822 名 (608 名)	1,466 名 (1,254 名)	4,633 名 (3,652 名)

(): 近畿圏

また、本学設置の目的でもある将来仏教界のリーダーとなりうる僧侶(浄土宗)養成のため、浄土宗寺院後継者を対象とした「宗門後継者入試」を設けており、平成 22 年度においては 16 名の合格・入学者となった。その他の入試方法において入学し、同資格の取得を希望する学生を含め、今後の僧侶(浄土宗)となるための養成に力を注ぐものである。

以上、現時点においての所見であり、他については設置届出時の計画のとおりである。